

令和7年度 第2回千葉市立博物館協議会議事録

1 日 時：令和8年3月3日（火） 午後2時00分～4時00分

2 場 所：千葉市立加曽利貝塚博物館 多目的室

3 出席者：（委員） 委員長他 3人出席

委員長 川尻 秋生

副委員長 広田 直行

委員 鈴木 一彦

委員 細野 正子

（事務局）

加曽利貝塚博物館 神野館長、小池副館長

郷土博物館 芦田館長、長原副館長、錦織主査

4 議 題

（1）令和8年度の予算(案)と事業予定について

（2）その他

5 議事概要及び議事結果

（1）令和8年度の予算(案)と事業予定について

加曽利貝塚博物館と郷土博物館からそれぞれの令和8年度の予算(案)と事業予定について説明し、各委員から意見が出された。

（2）その他

広田委員から加曽利貝塚新博物館についてのDBOの進捗について質問があったが、ホームページで公開されている内容以外の詳細については次回の協議会で説明を行うこととなった。また、次回の開催予定について、事務局から説明を行った。

6 会議経過

錦織主査の司会進行により会議が開会。会議資料の確認及び運営規則第3条第3項の規定により、この会議が成立していること、千葉市情報公開条例第25条に基づき会議を公開していることを告げた。続いて、事務局職員を紹介した後、川尻委員長を議長として、会議が進行した。

議事（1）令和8年度の予算(案)と事業予定について

< 説 明 >

加曽利貝塚博物館と郷土博物館から令和8年度の予算(案)と事業予定について説明した。

< 質疑応答等 >

川尻委員長 ただいま事務局から説明があったので、委員から質問や意見をいただきたい。

広田副委員長 加曽利貝塚の展示事業は 100 万円とあるが、例年この程度なのかということ、企画展の開催頻度は年何回なのか。企画展の費用が 100 万円というのはあまりに少ない気がするので、知りたい。

小池副館長 常設展はメンテナンス程度なのでさほど予算はかからないが、夏と秋、年度末に企画展は開催し、旅費 10 万円と消耗品費 16 万円程度の予算で運営してきた。

広田副委員長 新博物館のコンペの際、参加した 2 社の企画展の費用に差があったと記憶している。採択先の企業は、年間 200 万円程度と少なかった。対してもう一社は 1000 万円程度だった気がする。これをふまえ、現状と比較したかったので質問させてもらった。

今後、新博物館での企画展にかかる費用の検討材料として、現博物館での企画展に伴う費用の割合は重要なことなので、今後につなげるべき重要な検討課題の一つだと思う。

鈴木委員 企画展の予算が 100 万円程度であるのは私も少ないと思う。新博物館では、運営会社が入るのだと思うが、どの程度の予算を予定しているのか。

神野館長 まだ正式に議会で承認されておらず、確定後にあらためて説明したい。

鈴木委員 仮に数百万程度でも心もとない気がする。年に 2、3 回の開催を予定しているのであればなおさらである。おそらく現在の展示室のスペースに応じた金額なのだと思うが。新博物館については、業者としっかりと調整してもらったほうがよい。

細野委員 縄文春まつりと秋まつりの集客がよいということはとてもよいことだが、駐車スペースの確保はできているのか？

小池副館長 加曽利貝塚縄文遺跡公園内の駐車場に加え、臨時駐車場に 80 台分確保しているので問題は生じていない。

川尻委員長 特別展と企画展で差別化し、展示面積次第で展示品の量も変わるとはいえ、輸送費が高騰している現状では、値上がり分を考慮した金額の設定を考慮すべき。

広田副委員長 PFI 方式だと企画展にかけることができる費用の配分は、もうけ（収益）の中での配分が重要となる。その中で展示費用を削られないように指摘・意見を述べる場が、この協議会の意義・役割だと思う。運営会社との協議

の場をぜひ整え、予算配分などに物申せる場を是非に整えることを検討してほしい。

神野館長 博物館協議会は博物館法に定められている組織なので、新博物館でも当然引き継がれる。また、委員の意見を運営会社にも聞いてもらう必要があり、どのような形にするかを協議会へ諮りたい。

鈴木委員 新博物館では「利用料金制度」は導入するのか。入館料収入などが運営会社の収入になる制度である。入館料の徴収については、博物館を利用する人自身がある程度負担することには、利用しない納税者との公平性の上で意味がある。また、利用料金制度を導入することで、運営会社にインセンティブが生まれる。イベント会場や会議室などの貸出による収入も、運営会社の収入とすることができる。運営会社の活力につながることで検討材料として挙げてほしい。企業のモチベーションを上げることは、来館者サービス向上のために重要となる。

広田副委員長 郷土博物館の千葉開府 900 年にかかわる特別展についての希望だが、小島前委員長の頃、「鎌倉殿の 13 人」にかかわる展示を歴博で開催しており、その内容がとても分かりやすかったので、他の博物館のことはあるが、以前の資料を活用することで、グレードアップにつながるのではないかと。

広田副委員長 郷土博物館の常設展示はとても分かりやすくなった。シンプルでよい。ただ、2 階の最後の映像の扱いがあいまいな印象なのが残念。今後、丹青社と検討してもよいかもしれない。

芦田館長 千葉開府 900 年にかかわる特別展では、東北から九州までの千葉氏と関連する自治体などから数点ずつ展示品を借り受ける予定で、期間中に「千葉氏サミット」も開催予定なので、参加自治体にもぜひ見学してもらいたい。歴博の展示も参考にしたい。

エピローグの映像に関しては、現状での修正などは難しい。

今後は、1 階の企画展示室での展示で、わかりやすい展示を心掛けたい。

細野委員 郷土博物館の(2)資料収集保管事業と(3)調査研究事業の費用が前年度に比べ、大幅に減じているのはなぜか？

芦田館長 両方ともリニューアルに伴う費用が減じたからである。(2)は、デジタルともしび制作の費用(常設展示で活用している)、(3)は「千葉氏史料集」の調査費や編集費、印刷製本費が相当する。

川尻委員長 例年のルーティンの戻ったと考えてよいか。

芦田館長 はい

川尻委員長 としても、調査研究事業費が少ない気がする。

芦田館長 紀要をデジタルデータによる公開に切り替えたことで、印刷製本費がなくなったことも要因。

川尻委員長 今後の特別展・企画展の開催は、どのようなルーティンで行う予定か。

芦田館長 特別展1回、企画展1回を今後継続する予定。

川尻委員長 他に意見がないようであれば、委員の意見を十分踏まえ、次年度事業を進めるように。

議事（2）その他

長原副館長 「特別史跡加曾利貝塚新博物館（仮称）整備・運営事業者を決定しました」と記された記者発表資料を添付資料として配布したが、議会で承認されるまで公表されている以上の情報は、今回は本資料のみの配布とし、令和8年度第1回の協議会での質疑応答としたい旨を伝達。

<次回の日程>

芦田館長から、令和8年度第1回の協議会は「8月下旬」から「9月上旬」を目途に、調整する予定であることを伝達。

川尻委員長 本日の議事はここで終了とする。

問い合わせ先 千葉市立加曾利貝塚博物館
TEL 043-231-0129
千葉市立郷土博物館
TEL 043-222-8231